

1 専門演習紹介: 担当 吉永敦征

情報倫理学研究室では、情報化社会における倫理問題を考えるための知識を獲得して、その知識を使って問題を分析する能力を鍛えていきます。

知識の獲得にはテキストを読むことが大切です。テキストを読むことで「どのような考え方があるのか」「どのように考えることができるのか」「その考え方は妥当か」「どのような前提を持って考えているのか」「その前提は正しいのか」などを見極める能力が身につきます。これらは思考力のトレーニングでもあります。

本学科では、じっくりとテキストを読むという科目が少ないこともあるので、まずは多くの時間を使ってテキストを読むことに慣れてもらいます。そのため少なくとも前期は専門演習を週2回行ない、英語と日本語の基礎的なテキストの講読とディスカッションを行ないます。

2 使用するテキスト

今年度は、倫理学の基礎的な知識を身につけてもらうことを目的としたテキストと、哲学的な考え方に触れることを目的とした英語のテキストを用いました。

- 加藤尚武『現代倫理学入門』, 講談社学術文庫, 1997
- A.C. Grayling, *Thinking of Answers*, Walker & Co., 2010

来年度は下記の二冊を使う予定です。昨年度のものに比べると少し専門的ですが、内容は十分に理解しやすいです。哲学の入門書は少し古く感じるかもしれませんが、読みやすくわかりやすいはずです。

- ジェームズ・レイチェルズ『現実をみつめる道徳哲学』, 晃洋書房, 2003
- Robert G. Olson, *A Short Introduction to PHILOSOPHY*, Dover Publications, 1967

3 ゼミの運営方針

卒業論文を書くための基礎的な力を身につけることを目的とします。テキストについて、担当者を決めレジユメを作成して、まとめをみんなに伝えることを繰り返し行ないます。「レジユメを作成し、伝えるという練習」が目指すことは下記の内容になります。

1. 情報を得て (input)、それを編集して (edit/analysis)、そして出力する (output) 練習をする
2. さまざまな概念を理解し習得してゆく
3. 質問する能力を身につける

これらの能力は、それぞれがそれだけで身につくものではなく相互依存的です。情報の入力の精度を上げ、それを把握するための概念を身につけ、編集することができれば質問もできるようになります。最初は戸惑うことも多いですが、着実に学習してゆけば必ず身につく能力です。

3.1 情報を得る練習

一つ一つの言葉について理解する練習をします。言葉は単体では意味が確定せず、必ず文脈を伴って理解する必要があります。たとえば「技術は進歩する」という表現を考えたとき「善さ」や「便利さ」という概念がこの表現の中には暗黙裡に入っています。書かれている内容が含んでいることや前提にしていることを明かにすることを「分析」と表現しま

す。文章を分析的に理解するためには、たくさんの文章に目を通し理解してゆく作業をくり返さなければなりません。この練習をおこなうことで、正しい入力を得ることができます。

3.2 編集する練習

3.2.1 文章をまとめる

情報を編集するときは次の2つの手順を踏んでゆきます。

1. まとめる
2. 考察する

適切に入力された内容をまとめましょう。書かれている内容を適切に編集することが、よいまとめにつながります。次に、その内容に対して「疑問を出す」「考えを深める」「別の内容を追加する」などの行為を通じて、議論を発展させ、よりよいまとめにすることができます。たとえば、誰かが「技術は進歩する」と言ったとき、「どこに向かうことが進歩なのですか」や「進歩すると幸福になれるですか」などに気づくことができるようになります。

3.3 出力する練習

3.3.1 文章を書く

文章にはテンプレートがあります。学術的な文章には、さまざま意見はありますが「IMRaD」という形式にしたがう必要があります。この形式で文章が書けるようになるまで、繰り返し書く練習を行います。出されたテーマに応じて、それについて調べ、まとめ、考察を加え、文章にする作業を繰り返します。

3.3.2 プレゼンにする

文章をもとにプレゼンへと情報のフォーマットを変換します。この作業は文章が書けてさえいれば簡単なものです。実際にコンピュータを使ってプレゼンを作成していく練習をします。

3.3.3 スピーチの練習

毎回のゼミで1分間程度のスピーチを行なう練習をします。スピーチのルールは下記のようにしましょう。

- 必ず最初に名前を言うこと、「こんにちは X です」からはじめてください
- 姿勢と手の位置に気をつける
- 立ったり座ったりするときの動作
- 視線を聴衆に向けること
- 表情に注意すること

スピーチの内容は「好きな言葉を教えてください」「おすすめのマンガを紹介してください」「サークルやバイトを紹介してください」「気になったニュースを教えてください」「最近楽しかったことを教えてください」のような日常的なことです。タイマーで測りながら1分よりも長くなく、また短くもなく話す練習をしてゆきます。

4 その他

- 毎回出席するようにしてください
- 本は自由に読んでください（貸し出し簿には記録してください）
- 私の在室時には研究室の扉を開いています。自由に入出入りしてください
- ゼミ中はお茶・お菓子はご自由にどうぞ

- 半期毎（中間発表終了後とか）には打ち上げを行いましょ